

スーパ一定期預金規定

自動継続スーパ一定期預金規定

1. (スーパ一定期預金の支払時期)

スーパ一定期預金は、通帳（または証書表面）記載の満期日以後に利息とともに支払います。ただし、自動解約入金方式のスーパ一定期預金は、通帳記載の満期日に自動的に解約し、利息とともに支払います。この場合、元利金はあらかじめ指定された預金口座に入金するものとします。

2. (自動継続)

- (1) 自動継続スーパ一定期預金は、通帳（または証書表面）記載の満期日に前回と同一の期間のスーパ一定期預金に自動的に継続します。継続された預金についても同様とします。
- (2) この預金の継続後の利率は、継続日における株式会社滋賀銀行（以下「当行」といいます。）所定の利率とします。ただし、この預金の継続後の利率について別の定めをしたときは、その定めによるものとします。
- (3) 継続を停止するときは、満期日（継続をしたときはその満期日）までにその旨を申出てください。この申出があったときは、この預金は満期日以後に支払います。

3. (複利型<預入期間3年、4年および5年>のスーパ一定期預金の利息)

- (1) スーパ一定期預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数および通帳（または証書表面）記載の利率（以下「約定利率」といいます。）によって6か月複利の方法で計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。
- (2) この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。
- (3) この預金を第8条第1項により満期日前に解約する場合には、その利息は、預入日から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率（小数点第4位以下は切捨てます。なお、解約日における普通預金の利率を下回るときは、解約日における普通預金の利率とします。）によって6か月複利の方法で計算し、この預金とともに支払います。

① 預入日の3年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満……………約定利率×20%
- C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×30%
- D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×40%
- E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×50%
- F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×60%

② 預入日の4年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満……………約定利率×10%
- C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×20%
- D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×30%
- E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×40%
- F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×50%

G. 3年以上4年未満……………約定利率×60%

③預入日の5年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率

B. 6か月以上1年未満……………約定利率×10%

C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×10%

D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×20%

E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×30%

F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×40%

G. 3年以上4年未満……………約定利率×60%

H. 4年以上5年未満……………約定利率×80%

(4)この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

4. (単利型のスーパー定期預金の利息)

(1)スーパー定期預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数および通帳（または証書表面）記載の利率（以下「約定利率」といいます。）によって計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。

ただし、預入日の2年後の応当日から預入日の5年後の応当日までの日を満期日としたこの預金の利息の支払いは次によります。

①預入日から満期日の1年前の応当日までの間に到来する預入日の1年ごとの応当日を「中間利払日」とし、預入日または前回の中間利払日からその中間利払日の前日までの日数および通帳（または証書表面）記載の中間利払利率によって計算した中間利払額（以下「中間払利息」といいます。）を、利息の一部として、各中間利払日以後に、あらかじめ指定された方法により次のとおり支払います。

A. 現金で受取る場合には、当行所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳（または証書）とともに提出してください。

B. 預金口座へ振替える場合には、中間利払日に指定口座へ入金します。

②中間払利息（中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）を差引いた利息の残額は、満期日以後にこの預金とともに支払います。

(2)この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

(3)この預金を第8条第1項により満期日前に解約する場合には、その利息（以下「期限前解約利息」といいます。）は、預入日から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率（小数点第4位以下は切捨てます。なお、解約日における普通預金の利率を下回るときは、解約日における普通預金の利率とします。）によって計算し、この預金とともに支払います。

ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額（中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）と期限前解約利息との差額を清算します。

①預入日の1か月後の応当日から預入日の2年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率

B. 6か月以上1年未満……………約定利率×50%

C. 1年以上2年未満……………約定利率×70%

②預入日の2年後の応当日から預入日の3年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預

金の場合

- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満……………約定利率×30%
- C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×40%
- D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×50%
- E. 2年以上3年未満……………約定利率×70%

③預入日の3年後の応当日から預入日の4年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満……………約定利率×20%
- C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×30%
- D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×40%
- E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×50%
- F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×60%
- G. 3年以上4年未満……………約定利率×70%

④預入日の4年後の応当日から預入日の5年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満……………約定利率×10%
- C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×20%
- D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×30%
- E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×40%
- F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×50%
- G. 3年以上4年未満……………約定利率×60%
- H. 4年以上5年未満……………約定利率×80%

⑤預入日の5年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満……………約定利率×10%
- C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×10%
- D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×20%
- E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×30%
- F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×40%
- G. 3年以上4年未満……………約定利率×60%
- H. 4年以上5年未満……………約定利率×80%

(4) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

5. (複利型<預入期間3年、4年および5年>の自動継続スーパー定期預金の利息)

(1) 自動継続スーパー定期預金の利息は、預入日(継続をしたときはその継続日)から満期日の前日までの日数および通帳(または証書表面)記載の利率(継続後の預金については第2条第2項の利率。以下これらを「約定利率」といいます。)によって6か月複利の方法により計算し、あらかじめ指定された方法により、満期日に指定口座へ入金するか、または、満期日に元金に組入れて継続する方法により支払います。ただし、利息を指定口座へ入金できず現金で受取る場合には、当行所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳(または証書)とともに

に提出してください。

(2) 継続を停止した場合の利息は、満期日以後にこの預金とともに支払います。なお、満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率により計算します。

(3) この預金を第8条第1項により満期日前に解約する場合には、その利息は、預入日（継続をしたときは最後の継続日。以下同じです。）から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率（小数点第4位以下は切捨てます。なお、解約日における普通預金の利率を下回る場合は、解約日における普通預金の利率とします。）によって6か月複利の方法で計算し、この預金とともに支払います。

① 預入日の3年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満……………約定利率×20%
- C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×30%
- D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×40%
- E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×50%
- F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×60%

② 預入日の4年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満……………約定利率×10%
- C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×20%
- D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×30%
- E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×40%
- F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×50%
- G. 3年以上4年未満……………約定利率×60%

③ 預入日の5年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満……………約定利率×10%
- C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×10%
- D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×20%
- E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×30%
- F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×40%
- G. 3年以上4年未満……………約定利率×60%
- H. 4年以上5年未満……………約定利率×80%

(4) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

6. (単利型の自動継続スーパー定期預金の利息)

(1) 自動継続スーパー定期預金の利息は、預入日（継続をしたときはその継続日。以下同じです。）から満期日の前日までの日数および通帳（または証書表面）記載の利率（継続後の預金については第2条第2項の利率。以下これらを「約定利率」といいます。）によって計算し、満期日に支払います。

ただし、預入日の2年後の応当日から預入日の5年後の応当日までの日を満期日としたこの預金の利息の支払いは次によります。

① 預入日から満期日の1年前の応当日までの間に到来する預入日の1年ごとの応当日を「中間

利払日」とし、預入日または前回の中間利払日からその中間利払日の前日までの日数および通帳（または証書表面）記載の中間利払利率（継続後の預金の中間利払利率は、継続後の預金の利率に70%を乗じた利率。ただし、小数点第4位以下は切捨てます。）によって計算した中間利払額（以下「中間払利息」といいます。）を利息の一部として、各中間利払日に支払います。なお、預入日の2年後の応当日を満期日としたこの預金（以下「自動継続2年スーパー定期預金」といいます。）に限り、中間払利息を定期預金とすることができます。

②中間払利息（中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）を差引いた利息の残額（以下「満期払利息」といいます。）は満期日に支払います。

(2) この預金の利息の支払いは、次のとおり取扱います。

①預入日の1か月後の応当日から預入日の2年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の利息は、あらかじめ指定された方法により、満期日に指定口座に入金するか、または満期日に元金に組入れて継続します。

②自動継続2年スーパー定期預金の中間払利息および満期払利息は、あらかじめ指定された方法により次のとおり取扱います。

A. 預金口座へ振替える場合には、中間利払日および満期日に指定口座へ入金します。

B. 中間払利息を定期預金とする場合には、中間利払日にその自動継続2年スーパー定期預金と満期日を同一にするスーパー定期預金（以下「中間利息定期預金」といいます。）とし、その利率は、中間利払日における当行所定の利率を適用します。

満期払利息は満期日に元金に組入れ、中間利息定期預金の元金とともに合計して自動継続2年スーパー定期預金に継続します。

③預入日の2年後の応当日の翌日から預入日の5年後の応当日までの日を満期日としたこの預金の中間払利息は、中間利払日に指定口座に入金します。また、満期払利息は、あらかじめ指定された方法により満期日に指定口座へ入金するか、または満期日に元金に組入れて継続します。

④利息を指定口座に入金できず現金で受取る場合には、当行所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳（または証書）とともに提出してください。

(3) 継続を停止した場合のこの預金の利息（中間払利息を除きます。）は、満期日以後にこの預金とともに支払います。なお、満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算します。

(4) この預金を第8条第1項により満期日前に解約する場合には、その利息（以下「期限前解約利息」といいます。）は、預入日（継続をしたときは最後の継続日。以下同じです。）から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率（小数点第4位以下は切捨てます。なお、解約日における普通預金の利率を下回るときは、解約日における普通預金の利率とします。）によって計算し、この預金とともに支払います。

ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額（中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）と期限前解約利息との差額を清算します。

①預入日の1か月後の応当日から預入日の2年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率

B. 6か月以上1年未満……………約定利率×50%

C. 1年以上2年未満……………約定利率×70%

②預入日の2年後の応当日から預入日の3年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
 - B. 6か月以上1年未満……………約定利率×30%
 - C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×40%
 - D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×50%
 - E. 2年以上3年未満……………約定利率×70%
- ③預入日の3年後の応当日から預入日の4年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合
- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
 - B. 6か月以上1年未満……………約定利率×20%
 - C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×30%
 - D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×40%
 - E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×50%
 - F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×60%
 - G. 3年以上4年未満……………約定利率×70%
- ④預入日の4年後の応当日から預入日の5年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合
- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
 - B. 6か月以上1年未満……………約定利率×10%
 - C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×20%
 - D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×30%
 - E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×40%
 - F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×50%
 - G. 3年以上4年未満……………約定利率×60%
 - H. 4年以上5年未満……………約定利率×80%
- ⑤預入日の5年後の応当日を満期日としたこの預金の場合
- A. 6か月未満……………解約日における普通預金の利率
 - B. 6か月以上1年未満……………約定利率×10%
 - C. 1年以上1年6か月未満……………約定利率×10%
 - D. 1年6か月以上2年未満……………約定利率×20%
 - E. 2年以上2年6か月未満……………約定利率×30%
 - F. 2年6か月以上3年未満……………約定利率×40%
 - G. 3年以上4年未満……………約定利率×60%
 - H. 4年以上5年未満……………約定利率×80%
- (5) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

7. (中間利息定期預金)

- (1) 中間利息定期預金の利息については、前条の規定を準用します。
- (2) 中間利息定期預金については、申出により通帳（または証書）に記入し、次により取扱います。
 - ① 中間利息定期預金の印鑑は、この預金の届出印鑑を兼用します。
 - ② 中間利息定期預金をこの預金とともに解約または書替継続するときは、当行所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳（または証書）とともに口座開設店に提出してください。
 - ③ 中間利息定期預金のみを解約または書替継続するときは、当行所定の払戻請求書に届出の印

章により記名押印して通帳（または証書）とともに口座開設店に提出してください。

8.（預金の解約、書替継続）

- (1) この預金は、当行がやむを得ないと認める場合を除き、満期日前に解約することはできません。
- (2) この預金を解約または書替継続するときは、当行所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳（または証書）とともに口座開設店に提出してください。なお、個人の預金者で元金300万円以下の通帳式の場合は口座開設店以外の当行国内本支店にもお申し出いただくことができます。
- (3) 前項の解約または書替継続の手續に加え、当該預金を解約または書替継続することについて正当な権限を有することを確認するための本人確認書類の提示等の手續を求めることがあります。この場合、当行が必要と認めるときは、この確認ができるまでは解約または書替継続を行いません。

9.（自動解約入金後の通帳の効力）

自動解約入金方式のスーパー定期預金は満期日に元利金をあらかじめ指定された預金口座に入金した後は、通帳記載のこの預金は解約されたものとします。

10.（保険事故発生時における預金者からの相殺）

- (1) この預金は、満期日が未到来であっても、当行に預金保険法の定める保険事故が生じた場合には、当行に対する借入金等の債務と相殺する場合に限り、当該相殺額について期限が到来したのものとして、相殺することができます。なお、この預金に預金者の当行に対する債務を担保するため、もしくは第三者の当行に対する債務で預金者が保証人となっているものを担保するために質権等の担保権が設定されている場合にも同様の取扱いとします。
- (2) 前項により相殺する場合には、次の手續によるものとします。
 - ① 相殺通知は書面によるものとし、複数の借入金等の債務がある場合には充當の順序方法を指定のうえ、通帳（または証書）は、直ちに当行に提出してください。ただし、この預金で担保される債務がある場合には、当該債務または当該債務が第三者の当行に対する債務である場合には預金者の保証債務から相殺されるものとします。
 - ② 前号の充當の指定のない場合には、当行の指定する順序方法により充當いたします。
 - ③ 第1号による指定により、債権保全上支障が生じるおそれがある場合には、当行は遅滞なく異議を述べ、担保・保証の状況等を考慮して、順序方法を指定することができるものとします。
- (3) 第1項により相殺する場合の利息等については、次のとおりとします。
 - ① この預金の利息の計算については、その期間を相殺通知が当行に到達した日の前日までとして、利率は約定利率を適用するものとします。
 - ② 借入金等の債務の利息、割引料、遅延損害金等の計算については、その期間を相殺通知が当行に到達した日までとして、利率、料率は当行の定めによるものとします。また、借入金等を期限前弁済することにより発生する損害金等の取扱いについては、当行の定めによるものとします。
- (4) 第1項により相殺する場合の外国為替相場については、当行の計算実行時の相場を適用するものとします。
- (5) 第1項により相殺する場合において、借入金の期限前弁済等の手續きについて別の定めがあるときには、その定めによるものとします。ただし、借入金の期限前弁済等について当行の承諾を要する等の制限がある場合においても相殺することができるものとします。

以 上
(2020 年 5 月 1 日現在)